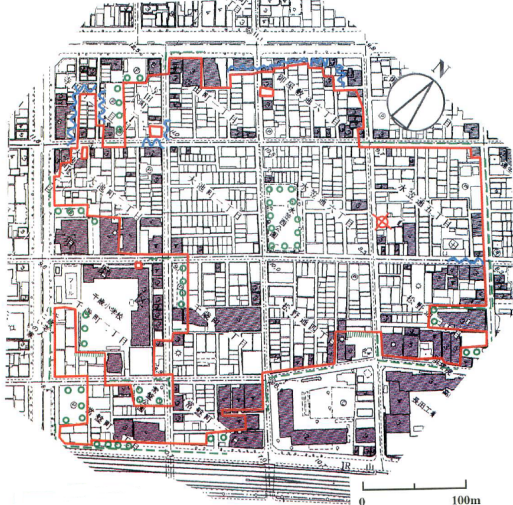


令和6年能登半島地震と平成7年兵庫県南部地震における火災の概要について

令和6年能登半島地震と平成7年兵庫県南部地震における火災の概要について

令和6年能登半島地震 1)	項目	平成7年兵庫県南部地震 2, 3)
<p>①令和6年1月1日 16時10分</p> <p>②石川県能登地方 (震央：北緯37度29.7分、東経137度16.2分) マグニチュード7.6 震源の深さ 16 km</p> <p>③最大震度 7、石川県 輪島市、志賀町</p> <p>④津波の状況 ＜津波警報＞令和6年1月1日16時12分発表 新潟県上中下越、佐渡、富山県、石川県能登、石川県加賀 ＜大津波警報＞令和6年1月1日16時22分発表石川県能登※津波警報から切替</p>	<p>地震の概要</p> <p>①発生日時 ②震源・規模 ③最大震度 ④津波の状況</p>	<p>①平成7年(1995年)1月17日 午前5時46分</p> <p>②淡路島北部(震央：北緯34度36分、東経135度02分) マグニチュード7.3 震源の深さ 16 km</p> <p>③最大震度 7、兵庫県神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市、淡路島の東北部</p> <p>④この地震による津波はなし</p>
<p>新潟県 1件 上越市 1件 富山県 5件 富山市 2件、高岡市 1件、氷見市 1件、魚津市 1件 石川県 11件 金沢市 3件、七尾市 2件、輪島市 4件、珠洲市 1件、能登町 1件</p> <p style="text-align: right;">合計17件</p>	<p>火災の発生件数</p>	<p>兵庫県 259件 神戸市166件、西宮市41件、芦屋市13件、伊丹市7件、尼崎市6件等 大阪府 32件 豊中市5件、寝屋川市3件、東大阪市3件、他</p> <p style="text-align: right;">合計293件</p>
<p>輪島市では、令和6年1月1日16時頃まで、平均風速が1m/s以下の北寄りの風であったが、それ以降は南寄り(1~2m/s)風にかわっている。</p>	<p>気象状況</p>	<p>神戸海洋気象台の記録によると、平成7年1月17日-19日の風速は、朝方は弱い(3m/s以下)が、午後になると若干強まる(5m/s以下)傾向が認められた。</p>
<p>調査中(輪島市大規模火災については、電気に起因する可能性が考えられる。珠洲市では津波火災が発生している)</p>	<p>出火原因</p>	<p>出火原因は不明が大半であったが、原因の判明した火災については、地震直後では電気器具・石油ストーブ・ガスストーブが多かったとされる。 地震後の再通電による火災の発生が指摘されている。</p>
<p>・16時30分 消防庁長官からの緊急消防援助隊出動の求め。【統括指揮支援隊】愛知県(名古屋市消防局)【指揮支援隊】大阪府(大阪市消防局)、京都府(京都市消防局)【都道府県大隊】愛知県、岐阜県</p>	<p>消防体制について</p>	<p>・神戸市消防局の体制については、地震当時は80小隊、警防要員292人が各署で待機。地震発生と同時に全職員の招集が発令された。 ・応援隊については、地震当日の10時に消防庁長官が全国の消防本部に対して広域応援要請を行っている。</p>

大規模延焼地区での比較

輪島市大規模火災	項目	神戸市長田区水笠公園 3, 4, 5)
 <p>焼け止まり線の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> 空地(先に何も無い) 空地(駐車場等) 道路(倒壊で閉塞) 道路 耐火・防火造建物 建物間 放水効果が想定される 	<p>概要図</p>	 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 焼けとまり線 耐火造建物 耐火壁 空地 道路 注水 破壊消防 出火点
<p>1) 発生日時等 覚知時刻：令和6年1月1日 17時23分頃 鎮火時刻：令和6年1月6日 17時10分</p> <p>2) 火元建物 石川県輪島市河井町地内</p> <p>3) 被害 焼失面積：約 49,000 m²</p>	<p>火災概要</p>	<p>1) 発生日時等 発生時刻：平成7年1月17日 鎮火時刻：平成7年1月18日</p> <p>2) 火元建物 神戸市長田区地内</p> <p>3) 被害 焼失面積：約 97,300 m²</p>
<p>①大津波警報、津波警報が火災現場を含む沿岸エリアに発令された。</p> <p>②建物倒壊等による救助要請の発生</p> <p>③消防指令システムの障害</p> <p>④道路被害（倒壊建物の道路への倒れこみ、橋などでの段差の発生）</p> <p>⑤消火栓や防火水槽の被害による消防水利の不足</p> <p>⑥地盤の隆起により河川からの自然水利が使用できず。</p>	<p>消防活動障害について</p>	<p>①現有消防力を上回る同時多発火災の発生</p> <p>②複合的な災害事象の多発</p> <p>③電話や無線の輻輳</p> <p>④道路被害、交通渋滞などの交通障害</p> <p>⑤消火栓や防火水槽の被害による消防水利の不足</p> <p>⑥消防庁舎の被害</p>

参考

- 1) 令和6年能登半島地震による被害及び消防機関等の対応状況（第80報）、令和6年3月1日（金）14時00分、消防庁災害対策本部
- 2) 阪神・淡路大震災について（確定報）、平成18年5月19日、消防庁
- 3) 『1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書』（社）日本火災学会(1996/11)
- 4) 1995年兵庫県南部地震後10日間の出火状況、鈴木恵子、松原美之、消研輯報 第49号(1995)
- 5) 兵庫県南部地震における神戸市内の市街地火災調査報告(速報)、平成7年3月、自治省消防庁消防研究所